

平成31年2月28日
畜産需給部

平成30年下半期におけるバター及び脱脂粉乳の 需給予測のかい離状況等について

畜産需給部では、カレントアクセスなどの輸入による国内の乳製品の需給調整を適切に行うため、需給動向、価格動向等を総合的に把握するとともに関係者へ提供していく取組みの一つとして、バター及び脱脂粉乳の生産量、輸入量、出回り量、在庫量について予測を行い、機構HPにて公表しているところです。

今回、平成30年下半期における予測結果と実績とのかい離について検証を行いました。かい離は突発的な要因を含め様々な要因がありますが、今後とも、データの蓄積を行いつつ、かい離の要因分析を継続するとともに、用いるデータを多様化するなど、予測精度の向上に努めて参りたいと考えております。

1. 予測手法

- (1) 生産量：バター及び脱脂粉乳の生産量は、(一社)Jミルクの「生乳及び牛乳乳製品の需給見通し」の特定乳製品向け数量に、それぞれの製造係数を乗じて算出。
- (2) 輸入量：カレントアクセス及び追加輸入について、輸入委託業者からの聞き取り等による輸出国の生産事情や SHIPPING スケジュール等から算出。
- (3) 出回り量：機構が公表している推定出回り量の伸び率を基に算出。
- (4) 在庫量：以上の予測値に基づいて、在庫量を算出
(期首在庫量＋生産量＋輸入量－出回り量＝期末在庫量)

2. 実績

- (1) 生産量及び在庫量：農林水産省「牛乳乳製品統計」
- (2) 輸入量：(独)農畜産業振興機構「農畜産業振興機構による指定乳製品等の売買状況」
- (3) 出回り量：(独)農畜産業振興機構「バター及び脱脂粉乳の需給表」
(期首在庫量＋生産量＋輸入量－期末在庫量＝出回り量)
※農林水産省「牛乳乳製品統計」の生産量及び在庫量を基に、機構が推計。

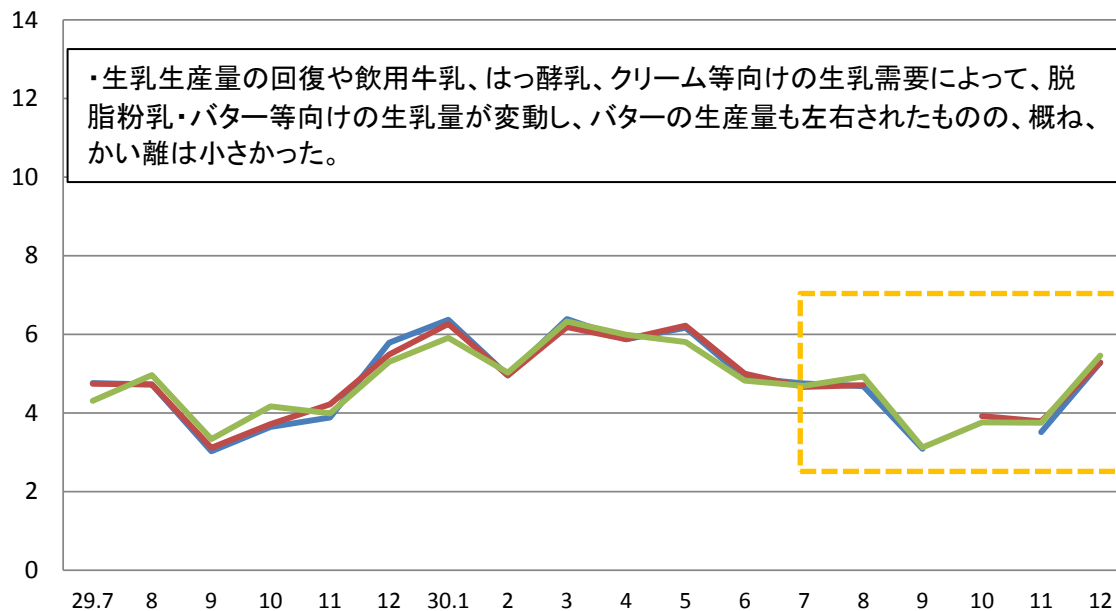
3. 実績とのかい離の状況等（別添グラフ参照）

- 生産量は、生乳生産の動向や飲用牛乳、はっ酵乳、クリーム等向けの生乳需要によって、脱脂粉乳・バター等向けの生乳量が左右されるものの、概ね、かい離は小さかった。
- 輸入量は、輸入委託業者の輸送船舶スケジュールの把握に努め、時期の変更にも適切に対応しているが、入船の前倒しや通関調整などによりかい離が生じた。
- 出回り量は、直近6カ月間の伸び率を基に予測しているが、実績については、「期首在庫＋生産量＋輸入量－期末在庫」に基づいて算出している。このため、例えば直近での輸入量の増減などの変化が生じても即座には予測値に反映されにくいという性質がある。
このように上記の生産量や輸入量の状況を反映して、一定のかい離が生じた。
- 在庫量は、「期首在庫量＋生産量＋輸入量－出回り量」で予測しているため、これらの数量にかい離が生じた月においては、結果として在庫量についても一定のかい離が生じた。

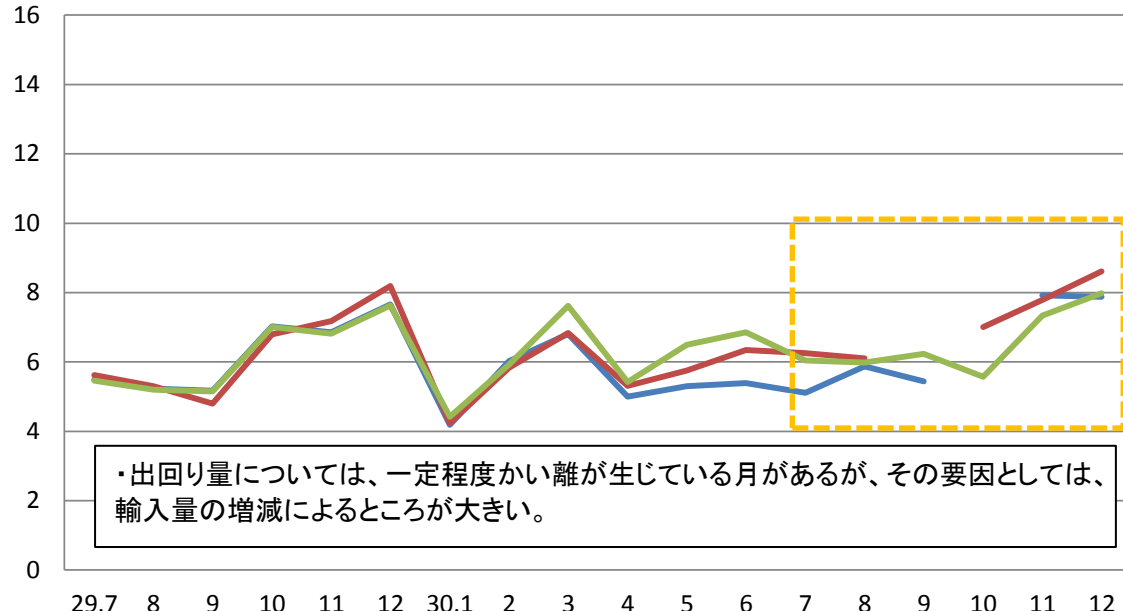
予測と実績のかい離の状況について(バター)

— 前月予測
 — 当月予測
 — 実績
 検証範囲
 (単位:千トン)

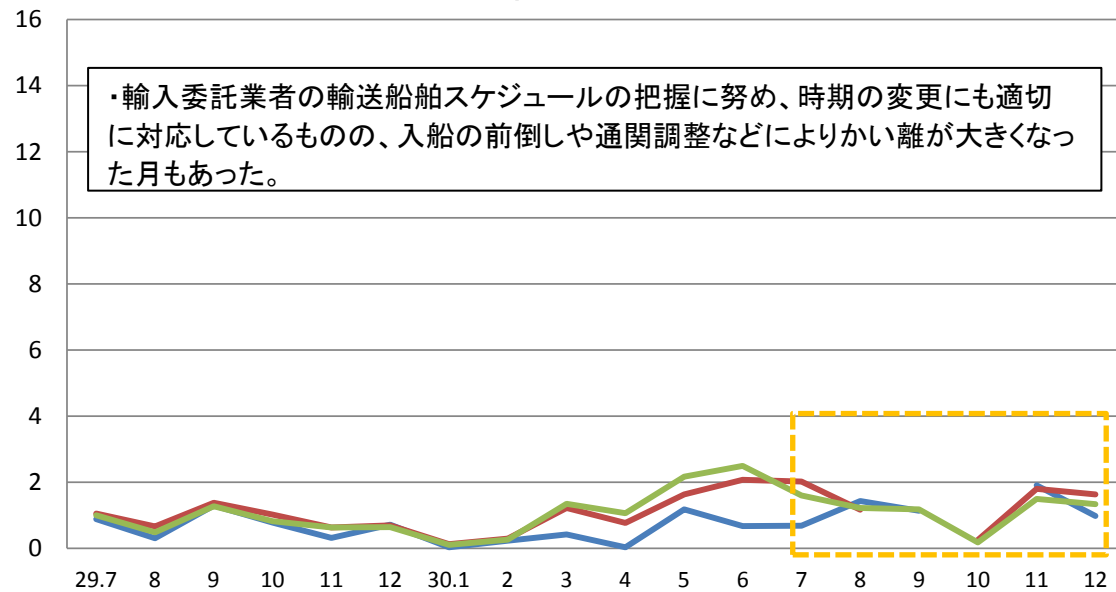
生産量



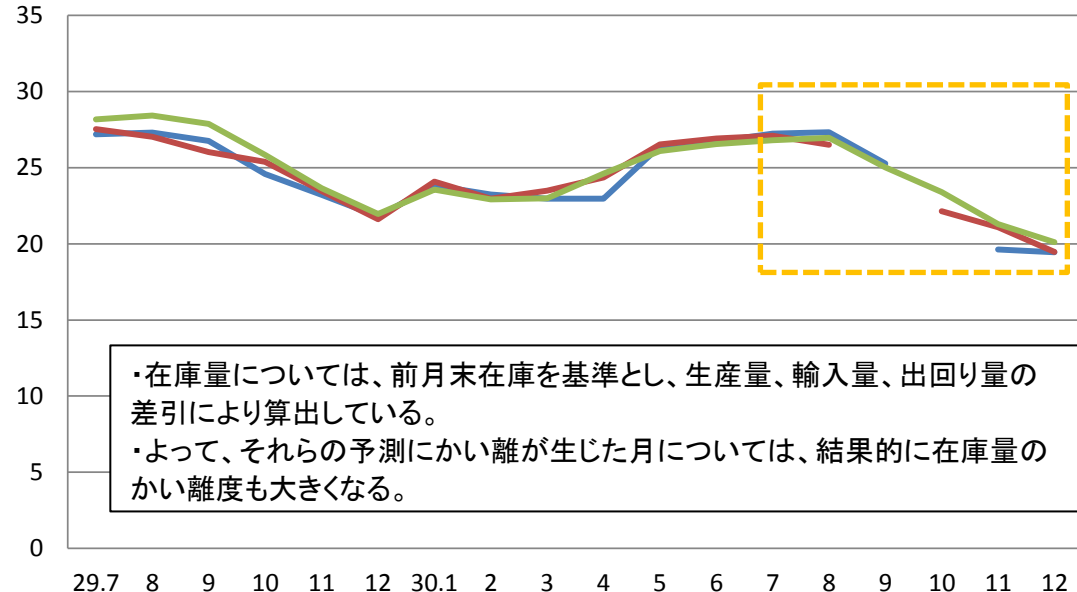
出回り量



輸入量



在庫量

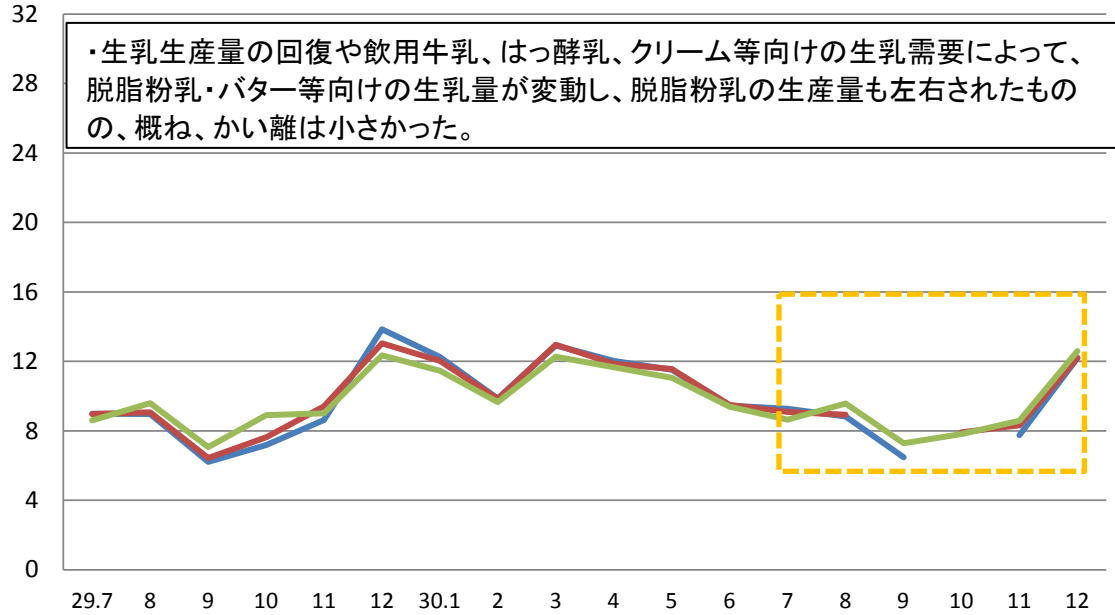


注: 9月6日に発生した北海道胆振東部地震発生で道内全域が停電となった影響により需給を見通すことが困難であったことから、9月については公表を取りやめたため、グラフが連続していない。

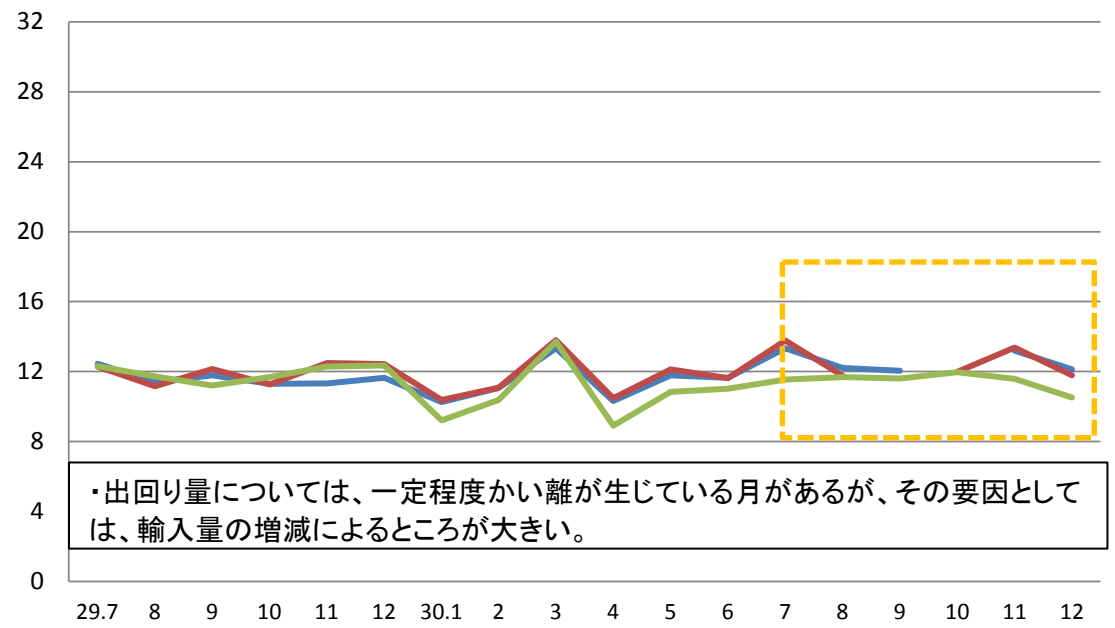
予測と実績のかい離の状況について(脱脂粉乳)

— 前月予測
 — 当月予測
 — 実績
 検証範囲
 (単位:千トン)

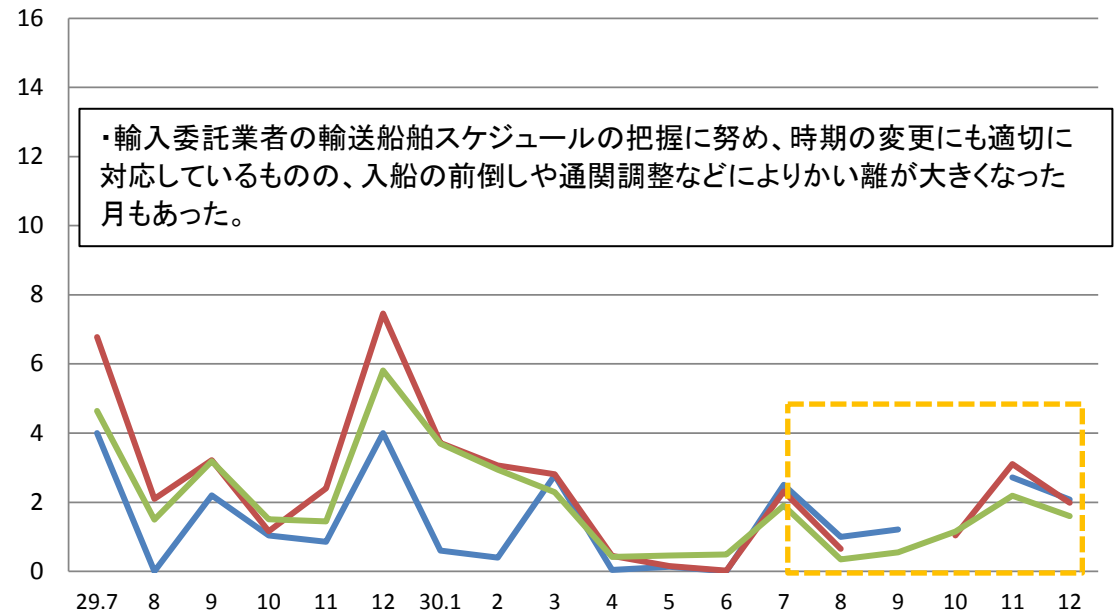
生産量



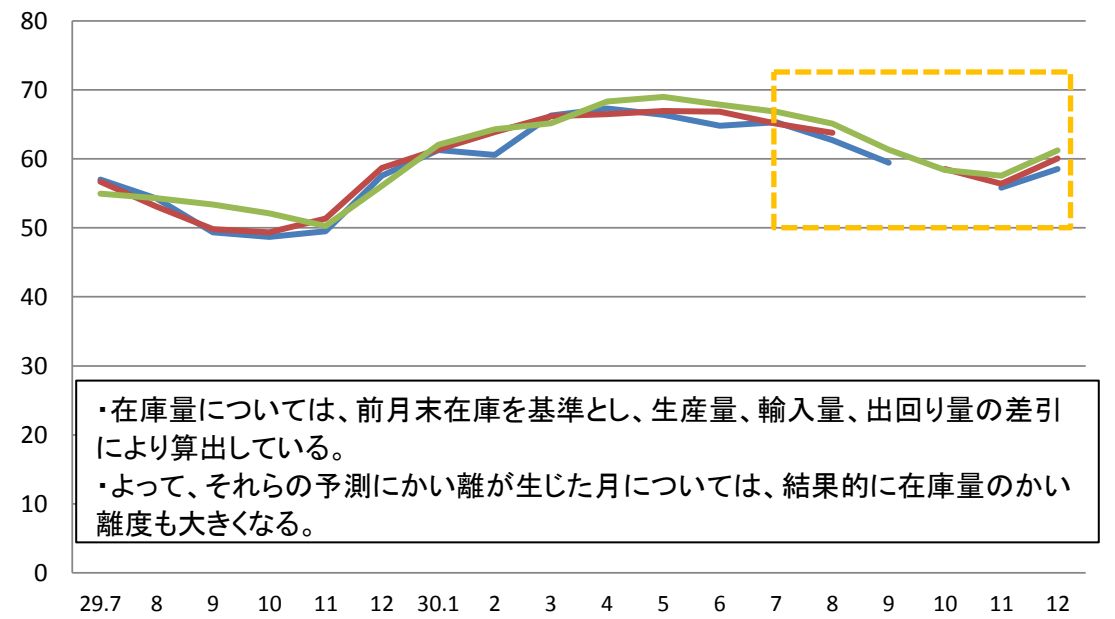
出回り量



輸入量



在庫量



注: 9月6日に発生した北海道胆振東部地震発生で道内全域が停電となった影響により需給を見通すことが困難であったことから、9月については公表を取りやめたため、グラフが連続していない。